

かていれいはいがいどさいがいじ  
家庭礼拝ガイド（災害時のために） 第一日

しゅあたしゅと  
テーマ：主は与え、主は取られる

せいしょかしよ き しょう  
聖書箇所：ヨブ記1章

きょう  
◆今日のみことば

「主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。」ヨブ記1章21節

◆メッセージ

2011年3月11日に、大きな地震が起こりました。地面がぐらぐらと揺れ、海からは大きな津波がやってきました。多くの町や村が波にのみ込まれ、大勢のいのちが失われました。そのときに生まれた人も今は10歳ですから長い時間がたちましたが、今も悲しい気持ち、つらい気持ちを持っている人が大勢います。

地震がおこる。台風がおこる。私たちは怖くなります。そしてイエスさまにお祈りします。「イエスさま、助けください。守ってください。ひどいことがおこらないようにしてください。」ところがどれだけお祈りしても地震がおこる。台風がおこる。神さま、どうしてこんなひどいことをするのですか？私のお祈りを聞いてくださらないのですか？そう思うのは皆さんだけではありません。お父さんお母さんも思うし、牧師も思います。

聖書に「ヨブ」という人が出てきます。ヨブさんは正しくまっすぐな心をもって神さまを恐れて生きる人でした。そんなヨブさんについてサタンが神さまに言うのです。「ヨブがあなたを恐れるのは、あなたが彼にたくさんのものを与えているからですよ。それを取り上げたらヨブはあなたを信じるのをやめますよ」。神さまはサタンに答えます。「そんなことはない。それなら彼の持ち物を取ってみたらよい」。ヨブさんの知らないところでこんなやりとりがあったとは勝手な話です。そしてサタンはヨブの持ち物を奪い、愛する家族までもあつという間に奪ってしまったのです。ひどい話です。神さまあんまりです。ヨブさんも「もうあなたを信じるなんてやめます」と言うと思います。私だったらそう言うと思います。

ところが、ヨブさんはこの大きな悲しみの中で神さまを賛美するのです。「主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな」。なぜかわからないことがあるけれど、それでも神さまを賛美する。神さまどうして？と聞きながら、それでも神さまを賛美する。むずかしいことです。でもそうやって神さまとともに生きるのです。

いの  
◆お祈り

「神さま、与えられるときも、取り去られるときも、どんなときでもあなたに向かって賛美することができますように。」

（徳丸町キリスト教会牧師 朝岡勝）